

発言No. 23

受付No. 10

令和 3 年 6 月 16 日
9 時 16 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 2 番 氏名 沖田真治

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 ウッドショックによる公共施設建設への影響について

世界的な木材の高騰により建築資材全般の価格が上昇し、昨年と比べて木材価格は 3 倍近くの値上がりに加え、買い占めにより建築資材全般の価格が上昇し原材料不足により工期も見通しが立たないと報道されており、建設業界は大混乱に陥っている。今年度は病児・病後児保育室整備や子育て世代包括支援センターなど、複数の建設工事が、計画通りに進むのか疑問に思い以下のとおり質問する。

- ① ウッドショックにより、市が計画している事業に及ぼす影響についての認識と、今年度計画している事業に影響を及ぼすと思われる件数を伺う。
- ② 建築資材の価格高騰により、当初の積算よりも大幅な増額が予想され、予想通りの影響が出ると、当初の積算による予算では設計通りの建物にはならないと思うが、現状の対応について伺う。
- ③ 資材価格の高騰と同時に資材調達も思うようにできない状況下であれば、工期も見通しが立たないように思うが、工期の延期をやむなしとするのか、何らかの方法で計画通りに行うのか伺う。
- ④ この事態により当初積算し設計した建設物を材料の高騰が理由で割高の建物にならないように、建設資材の価格が下がるまで建設時期を見合わせることも、考え方の一つではないかと思うが、市としての考えを伺う。

2 回覧板の電子化について

回覧板は町内会、まちづくり組織などが行うイベントや行政情報を周知する方法として昔から当たり前のように各家庭に必要な情報を伝達しているが、最近ではスマホを使って効率的に情報を届けるアプリなどが開発され、導入町内会がテレビニュースで報道されている。全体でいえば少数派ではあるが、コロナ禍により接触を避けることを目的に導入する町内会は、全国的にも増えている。世代によって導入への賛否が分かれるとは思いますが、役員の配る手間と印刷費用など負担軽減、情報を早く届けることで、管理しやすいことなど持つ人にとって利点は大きく、地域活動の広報を行うには非常に有効であること、今後はスマホを積極的に活用する世代が町内会役員を担うことになることを考えると導入した町内会には共感できる。回覧板を管理運営するのは町内会であり、導入する、しないは各町内会で考えて決めるべきことかもしれないが、住民の情報伝達の方法をより便利で合理化を図っていくこと進めることは、まちづくりを進めていくうえで、行政側にもメリットがあるように思い以下の通り質問する。

- ① 電子回覧板についての認識と導入を検討したことはあるのか伺う。
- ② 導入を検討する町内会、まちづくり組織から相談された場合の対応について伺う。